

様々な人々が集う 歩いて楽しい「蔵のまち」の形成

環境の整備[愛する郷土ときれいなまち]

歴史と伝統に培われた、
美しい蔵のまち喜多方にこぼれる笑顔。
バランスのとれた都市環境をめざして。

喜多方市では広域化していく様々な都市活動と、生活価値観の高度化や市民の自由時間の拡大などを背景として、長期的、広域的な視点からの都市の骨格づくりと、市民を取り巻く生活環境の充実を図っています。さらに、地域の伝統や特性をいかし、市民にも訪問者にも魅力のある都市環境の整備を図っています。道路網の整備では都市計画街路および国道10号大峠道路、10号喜多方バイパスの開通、東北横断道郡山・坂下間の建設事業が平成四年度に供用開始されました。

また、高原リゾートとして開発が期待される裏磐梯と喜多方を結ぶ主要地方道喜多方・北塩原線(檜原ビュースタイン)の新ルートも供給開始され、観光・産業面の振興に大きな役割を果たしています。昭和六十二年公共下水道事業が着工し、八ヶ年計画の第一期工事では、終末処理場の建設が終わり、下水道の整備が急ピッチで進行しています。一方、水道事業では、年々増大する水需要にこぼれるための拡張工事のほか、農業用水、都市用水の将来的な確保に向け、有効貯水量二千三百十立方メートルを誇る多目的ダム、国営会津北部農業水利事業(日中ダム)が完成し、喜多方地方水道用水供給企業団による給水が開始されています。



社会活動の広域化と地域の特性を いかした力強い産業の振興

産業の振興[仕事に励み活力あるまち]

日々、変化していく価値観や社会情勢、
地域の特性を生かした、力強い産業。
一歩進んだ未来への歩み。

産業活動の高度化、情報化の進展、広域交通条件の整備拡充などによる社会活動の広域化、及び自然環境と地域の独自性をいかして、力強い地域産業の振興を図っています。特に、青年層の就業意欲にこぼれる新たな分野の産業を育成し、各世代のバランスのとれた定住社会の条件整備を図っています。喜多方市の基幹産業として地域経済を支えてきた農業は、減反、後継者不足、農産物の輸入拡大などさまざまな要因によって、近年まことに厳しい状況にあります。今後は経営基盤の確立に努めるとともに、市場性の高い農産物の生産拡大、有機農業、西洋梨などのブランド化、研究開発、機械による省力化が求められ、時代の新しい要請に

応えた農業経営のあり方が模索され、変革の必要性に迫られているため、その実現を図っています。工業製品出荷額は、企業誘致と工場産業の振興などにより着実に伸びています。将来的には、活力ある工業都市喜多方を創造していくために、工業基盤整備に重点を置き、現在の堰上工業団地のほか、新しい県営中核工業団地の造成を図り、企業誘致を積極的に推進していきます。また、地場産業の育成強化と規模拡大に努め、技術革新や情報化など急速な時代の変化に対応できる人材の育成に努力を重ねています。



廃棄物も増大の傾向にあり、市では廃棄物の再資源化を進めるとともに、ゴミ処理については、喜多方地方広域市町村圏組合が分担し、環境センター山都工場により対応しています。また、広域行政の立場から、市民の安全を守る防災、救急体制のネットワーク化を進めるとともに、消防施設などの充実に努力しています。

商業面では、商店街を地域住民のふれあいの場とし、魅力ある商店街づくりを努めています。大型店の進出、高速交通化などに伴い、市の商圈は様相を変えつつあり、会津喜多方商工会議所と連携し、地域の特性をいかした商業近代化計画に基づき新しい喜多方商店街の形成を目指します。